



# 遠藤れい子ひまわりレポート



○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3丁目1-3 ☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443  
○県議会執務室 〒950-0965 新潟市中央区新光町4-1 県議会内 ☎025-280-5475



## 大增税の自民党政治を変えましょう！ 統一地方選は日本共産党の躍進で命・暮らしを守ろう

### 大軍拡・大增税の政権に

### 地方から「ノー」の声を

### 遠藤れい子を再び県会へ！

### いのち・暮らし最優先の新しい政治をつくらう



2023年 元旦  
日本共産党県議会議員  
遠藤れい子

みなさまお元気ですか。  
長引くコロナ感染拡大と豪雪の中で、ご苦労されている方々に「こころからお見舞い申し上げます。  
**昨年**、私は年頭あいさつで『岸田政権の危うさは先鋭化しています。防衛費は6兆円を超え、敵基地攻撃能力の保有と改憲を進め、戦争への道をひたすら歩んでいます』と述べましたが、暴走は止まりません。昨年の参院選で改憲勢力3分の2になったことを

背景に、12月16日、防衛力強化に向けた新たな「国家安全保障戦略」など安閑連3文書を閣議決定しました。反撃能力(敵基地攻撃能力)保有を明記し、米国製の長距離巡航ミサイル「トマホーク」など大量のミサイル配備計画も明記しました。2023年から5年間の「防衛費(軍事費)」総額を43兆円程度にと、現行5年間の計画から1.6倍に積み増す過去最大の増額を決

めました。  
物価高騰や医療や介護の負担増で苦労している国民の声は一切聞こうとせず、岸田首相の「聞く耳」は、アメリカと財界に向いています。  
**原発**では、岸田首相を議長とするグリーン・トランスフォーメーション(GX)実行会議が12月22日、新たな原発推進政策を含む基本方針を決定。「原発再稼働の加速、新規原発建設、原発の60年超運転了承」というものであり、これまでも政府自身が「可能な限り原発依存度を低減する」としてきた立場の大転換にほかなりません。  
国民の不安や疑問には答えず、次々と閣議決定でことをすすめるなど、横暴で独裁的なやり方と言わざるを得ません。  
こうした中で、国言いなりの知事提案に従う自民党では県民のいのちと暮らしは守れません。

コロナ感染拡大と度重なる災害対応で、公務員や医療・介護の現場は必死に頑張っています。こうしたところにこそ手厚い支援が必要です。また、食料支援に並ぶ学生や、年金を減らされ生活を切り詰める高齢者、実質賃金が上がらない働く世代の人たちの生活も大変です。生活の下支えをすることが政治の役割です。  
**遠藤れい子は、県民のいのちと暮らし最優先の県政つくるため頑張ります！**  
皆さんと一緒に「柏崎刈羽原発再稼働ストップ！医療・介護体制の充実！学校給食の無料化！県独自の給付型奨学金制度の復活と拡充を！地場産業と農業支援の充実を！」の声をあげ続けます。  
ともに、新しい県政をつくりましょう。



2022年1月、賽の神

**1月** 3日、新春街頭宣伝



15日、長岡PCR検査センターを視察



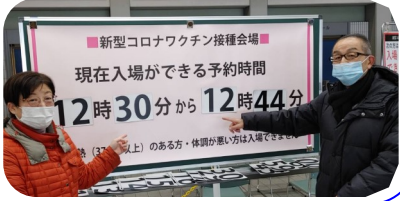
18日中之島で県政報告会。  
室井佑月さんも参加



28日長岡市にコロナ対策の申し入れ



**2月** 13日ワクチン接種会場を視察



**3月** 11日、「福島を忘れない！原発ゼロ長岡集会」



**4月** 9日中之島地域を訪問



**5月** 4日、山古志牛の角突きを観る



**6月** 16日蓮瀧スタンディング

20日中之島支所前スタンディング



**7月** 25日中之島支所前で



**8月**

15日、終戦記念日に街頭から訴える



**11月** 18日、県民大運動の県要請行動で発言する遠藤れい子



**10月** 23日、中越地震慰霊祭、市民とともに献花する遠藤れい子



30日、蓮瀧交差点で街頭スタンディング (月曜朝は中之島支所前で、火曜朝は蓮瀧交差点で毎週スタンディング)

**12月** 2日、長岡市議団と共に磯田市長に2023年度予算要望する遠藤れい子



14日、フードバンク長岡を訪ねて



**9月** 27日、「国葬反対」アオーレ前行動

